

有料放送事業の現状と課題

スカパーJSAT株式会社

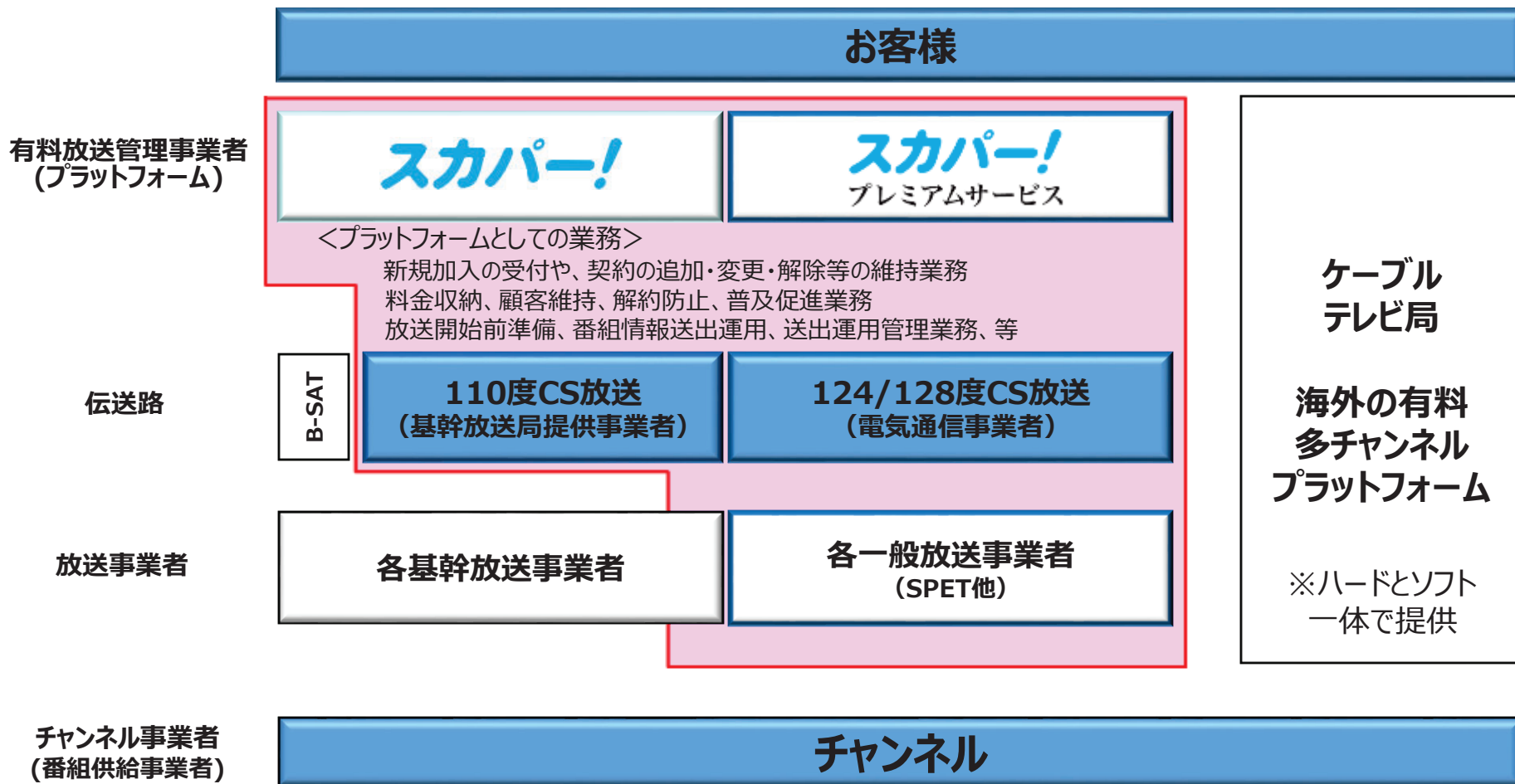
執行役員 メディア事業部門 メディア事業本部長

奥永 孝仁

1. スカパーJSATが提供する映像サービス

スカパーJSATが提供する機能

■ 衛星オペレータと有料放送プラットフォーム双方の機能を持ち、
一体的に有料多チャンネル放送を提供

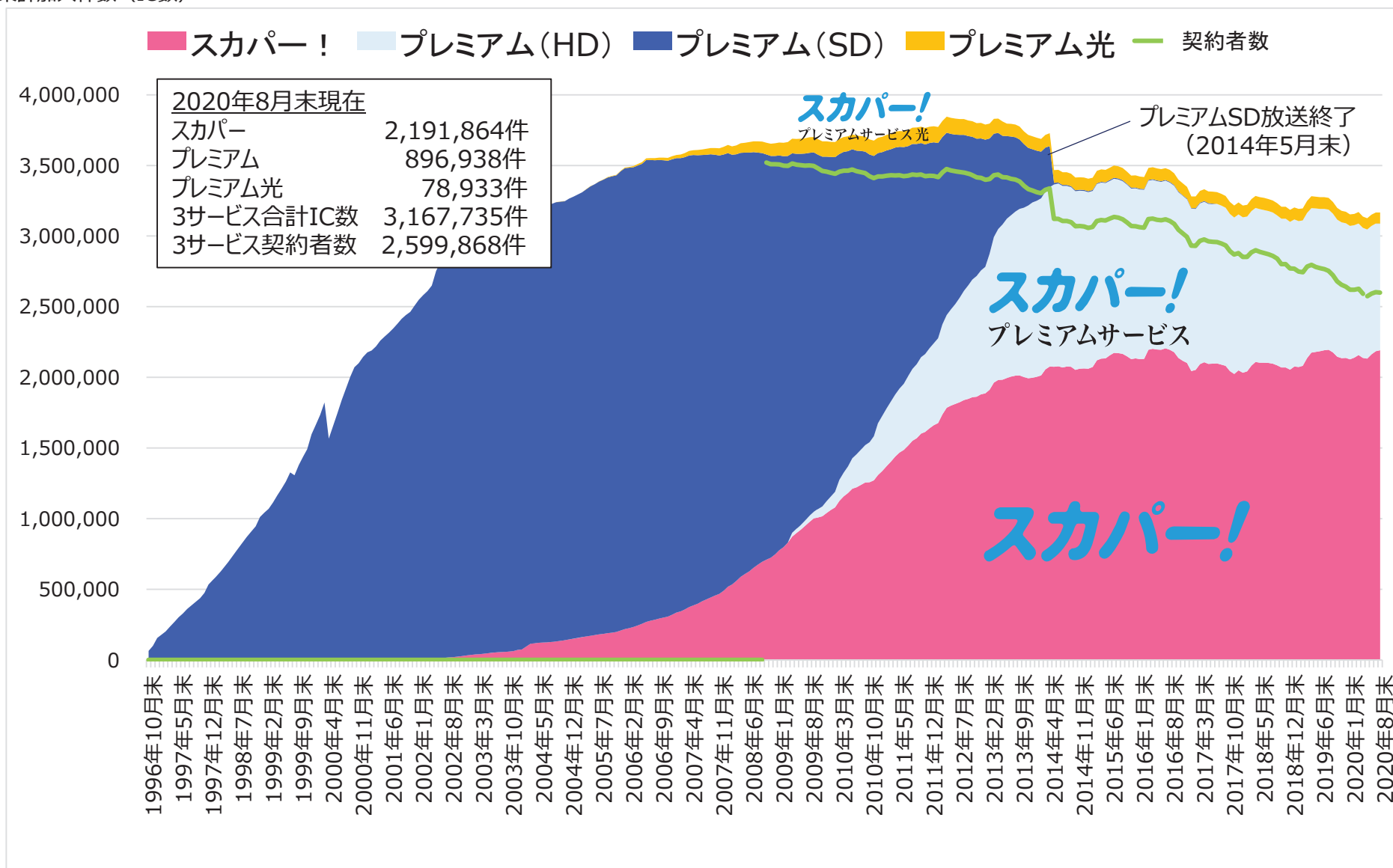


※放送事業者と同一の場合がある

スカパーJSATグループの事業領域

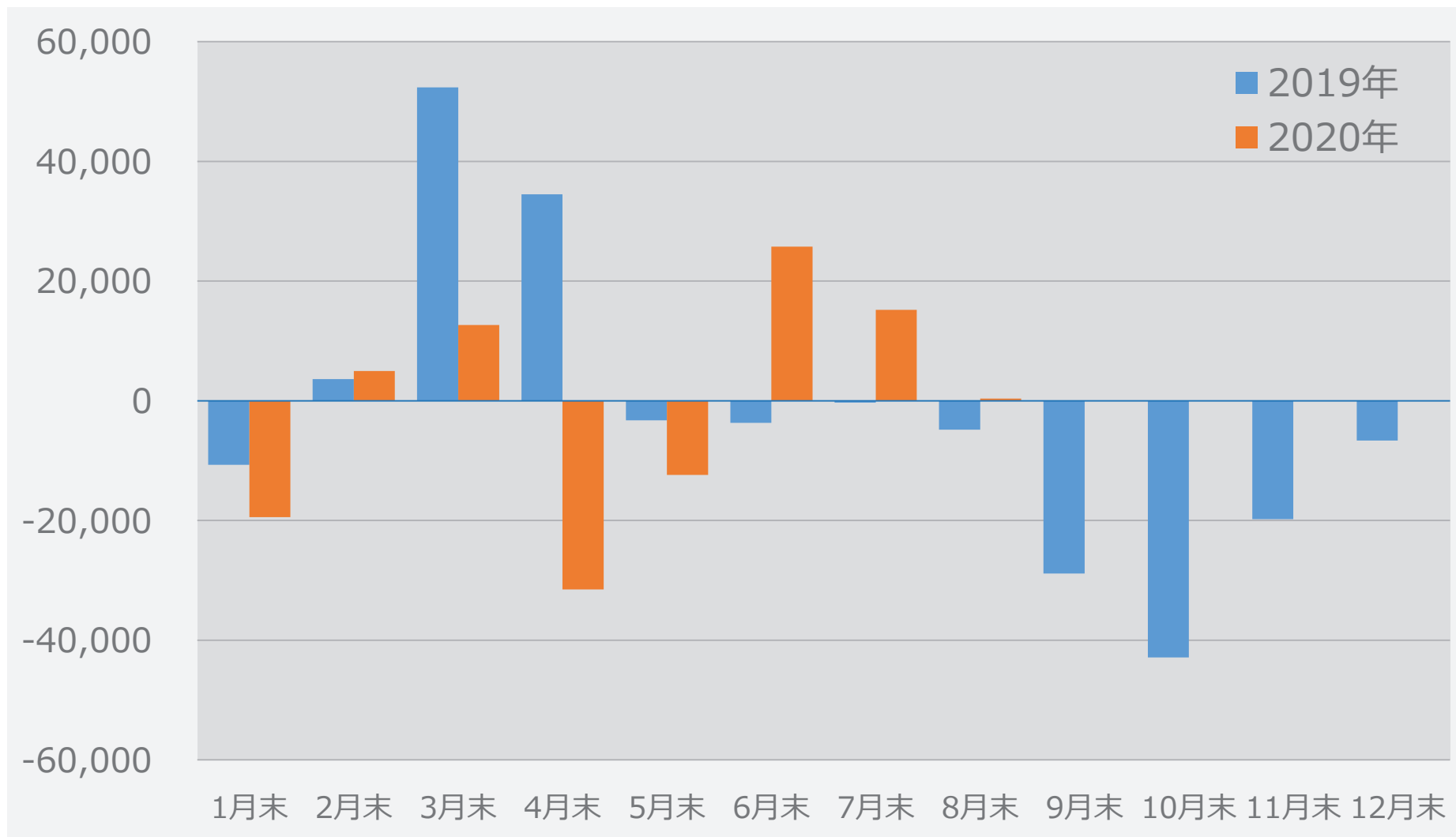
累計加入件数推移 (IC数)

累計加入件数 (IC数)



加入件数純増減推移 (IC数)

2019～2020年 月別加入件数純増減推移
(スカパー、プレミアムサービス、プレミアムサービス光 3サービス合計)



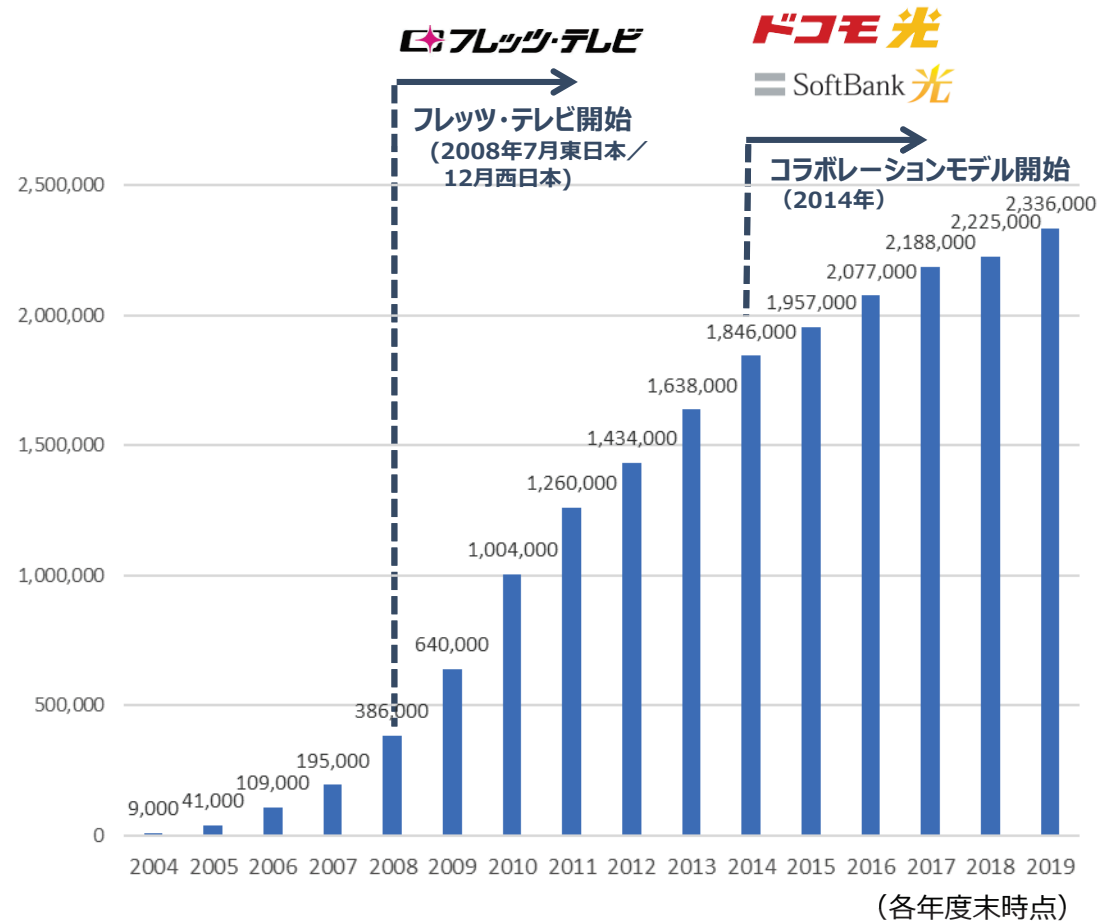
FTTHサービスの推移（光回線による地上波、BS、CS再送信事業）

- 提供可能世帯数 : 28都道府県 約3,100万世帯
- 再送信サービス契約世帯数 : 237.6万世帯（地上波、BS）

2020年8月末時点



※世帯カバー率は国勢調査世帯数より算出



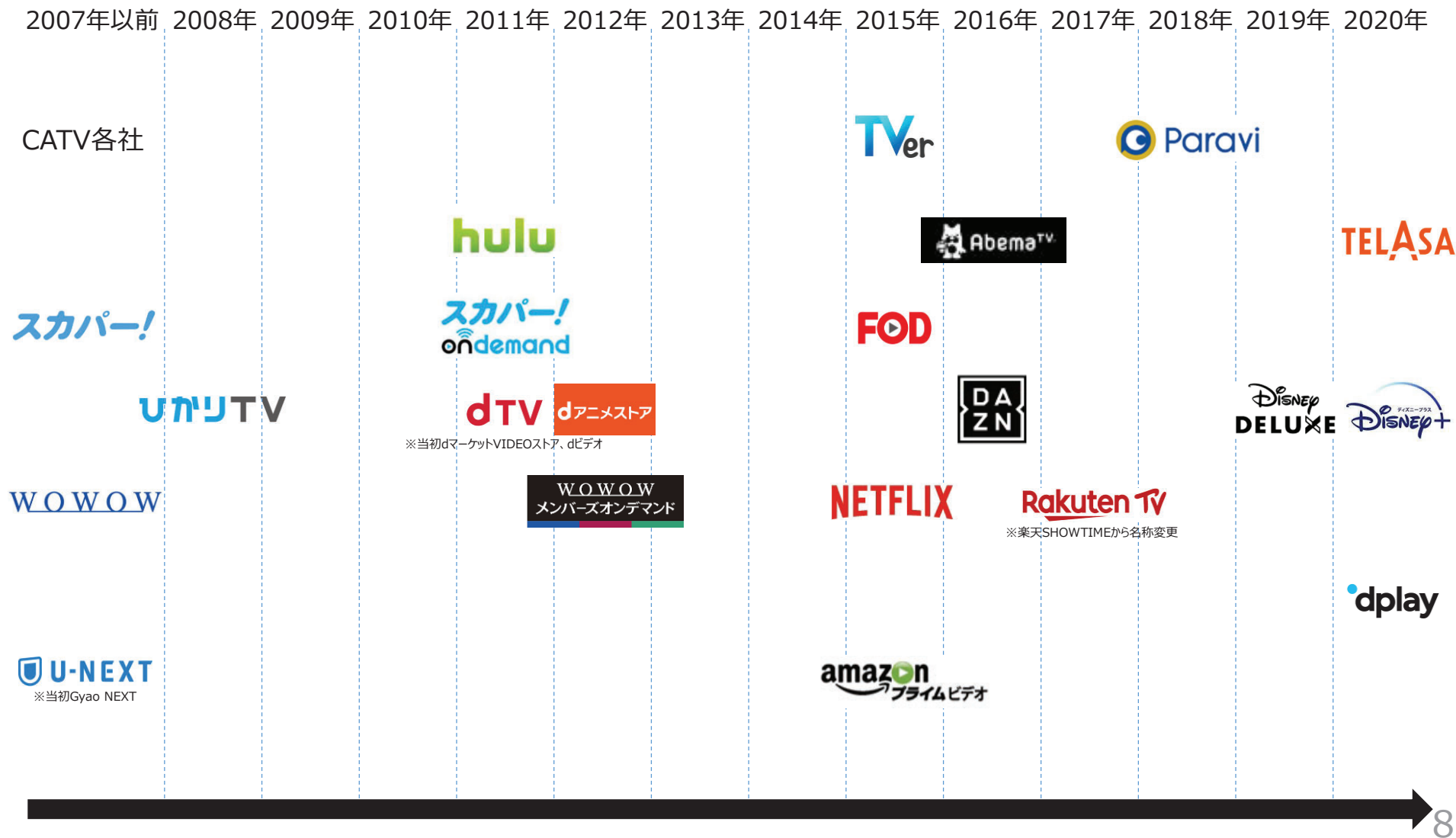
2019年9月～ FTTHでも新4K8K衛星放送 全チャンネル対応

（専用アダプタを設置することで、宅内設備の工事をせずに新4K8K衛星放送を受信可能）

2. 有料放送市場の現状

競合の乱立

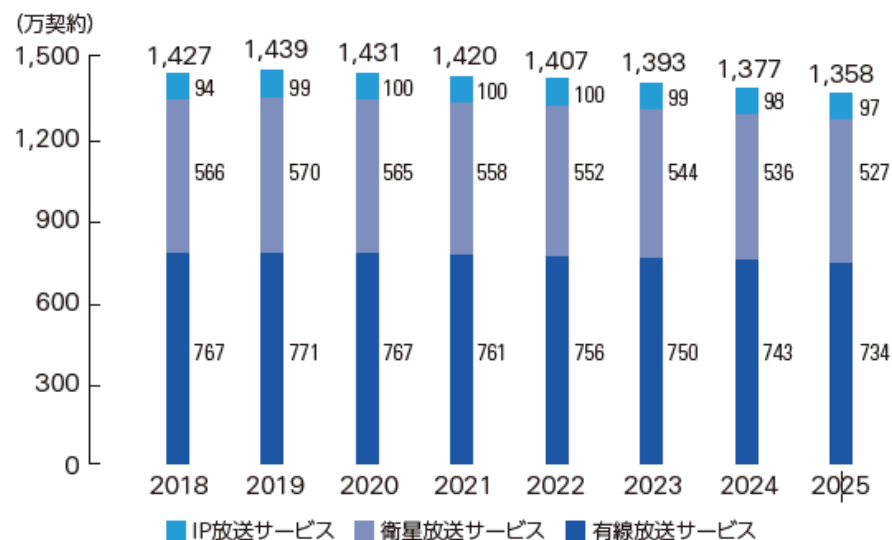
- 2008年以降、様々な映像サービスが登場
- 特に2015年以降は、外資系含む動画配信サービスが多数登場し、競争環境は一層厳しい状況となっている



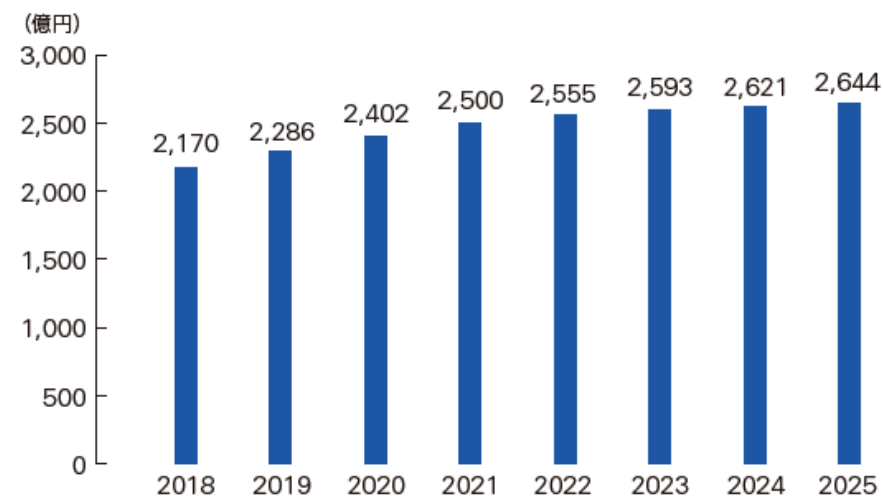
有料放送市場の推移と今後の見通し

- 衛星放送、CATV、IP放送などの有料放送プラットフォームサービスの加入世帯数は減少トレンド
- 一方、動画配信市場規模は増加トレンド

有料放送プラットフォームサービス加入世帯数予測



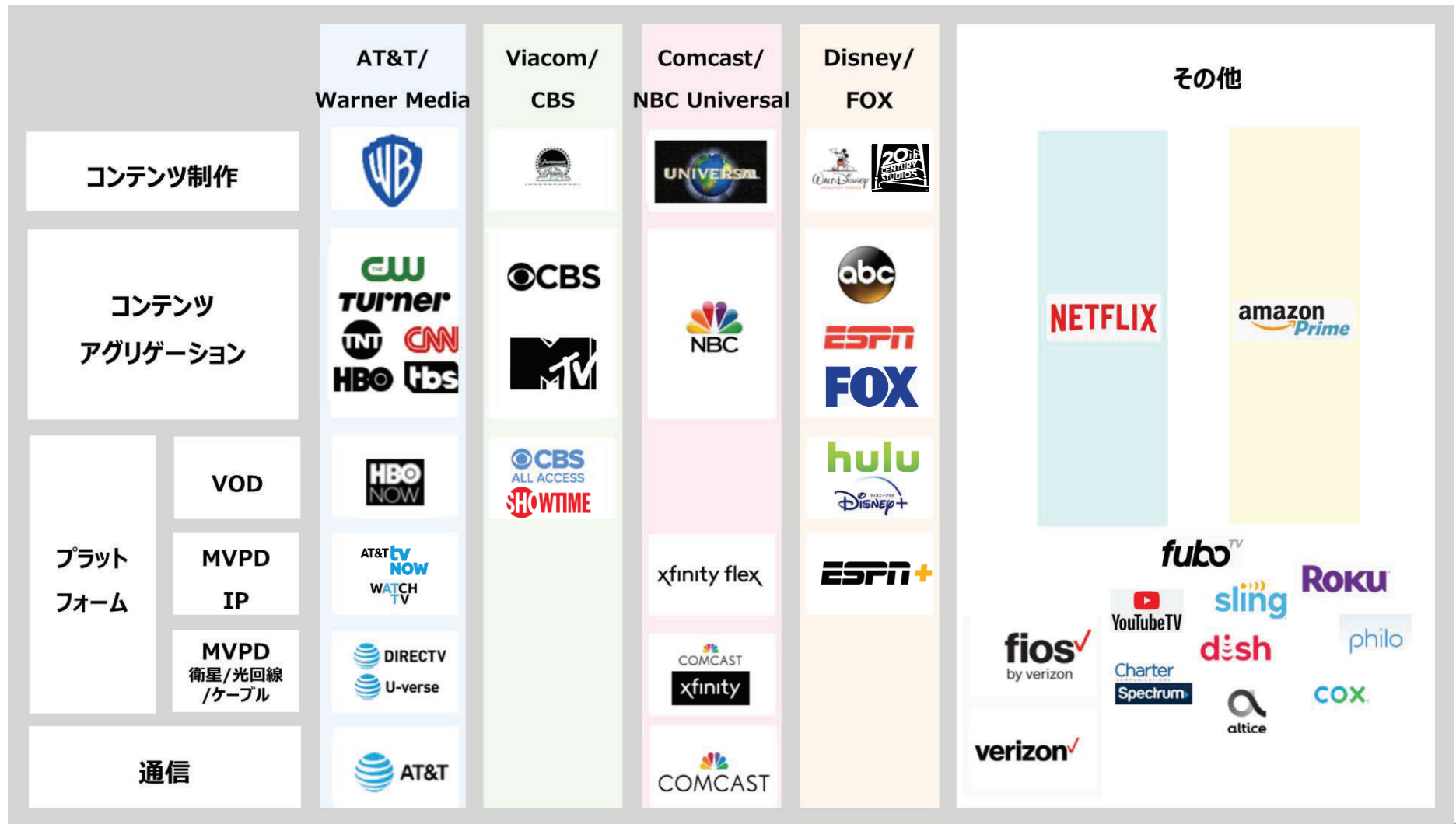
動画配信市場規模予測



(出典) 野村総合研究所「ITナビゲーター2020年度版」(2019年12月)

米国の放送・通信市場の再編

- 通信／コンテンツ／プラットフォームの垂直統合が進み4グループに再編
- 衛星放送の存在感低下。グループ内のIPサービスを推進



米国における衛星放送の状況

■ DirecTV

- ・2015年にAT&T傘下に
- ・2016年の2,100万件をピークにその後漸減（2020年2Q時点で約1,800万件）

■ DISH TV

- ・2014年の1,400万件をピークにその後漸減（2020年2Q時点で約900万件）

（単位：千件）

	2019 4Q		2020 1Q		2020 2Q	
	加入件数	前四半期比	加入件数	前四半期比	加入件数	前四半期比
DirecTV	19,473	-945	18,580	-897	17,690	-886
DISH TV	9,400	-194	9,010	-413	9,020	-40
COMCAST	21,254	-149	20,845	-409	20,367	-477

各社資料を基に当社調べ

※DirecTVの件数には、U-verseの件数を含む

※DISH TVはコロナによる休止・再開を加入件数のみに反映

※COMCASTはテレビサービスのみの件数

3. 有料放送事業の課題

事業競争環境の変化

■ 2000年前後

<スカパー！サービスの急成長>

・JskyB=パーフェクTV合併、DirecTV撤退（1998年～2000年）

・加入件数

1997年3月末：24万件

2003年3月末：299万件

<競合サービスの状況>

・CATV 多数の事業者が並存

・IPTV 2003年にサービス開始

・その他 DVDのレンタルが主流。配信サービスは試行錯誤段階。

■ 現状

<スカパー！サービスの停滞／純減>

・2012年380万件超をピークに、2020年8月末時点で317万件まで減少
（124/128度CSサービスを中心に減少傾向が続いている）

<競合サービスの状況>

・CATV テレビサービスは漸減傾向。J:COMがCATV市場シェア50%超

・IPTV 横這いから漸減傾向

・配信サービス

AmazonプライムやNETFLIXが、放送サービスを大きく上回る
加入者を獲得（NETFLIX：500万件超）

視聴者の変化

- 受動的であったテレビ視聴者は、能動的に変化
- 従来からのテレビに加え、近年登場した複数の視聴形態・サービスを器用に使い分けている



有料放送事業の発展のために

- 事業競争環境の変化、視聴者の変化を受け、有料放送事業の競争力は年々低下
- 視聴者のニーズに応え、市場で生き残るためには以下のような変化が必要

衛星放送にこだわらないサービスの提供

- リニア方式のみならず、現代の視聴スタイルにあわせたサービス・番組の提供
- FTTHサービスの拡大

コスト構造の見直し

- 一定の加入減に耐えられるコスト構造への変革が必要（設備投資、コールセンター費用、等）

時代の変化に合わせたプラットフォーム運営

- 商品組成・価格設定などについて視聴者ニーズに迅速かつ柔軟に対応することが求められる
- 110度CSの有料放送は、視聴者から見ると1つのサービス（スカパー）となっており、同じ基幹放送でも地上波や無料BSとは視聴者対応も異なる
- 2003年に策定され、2007年に優越的な地位にあるとして改訂に至ったプラットフォームの規律については、「公正性・中立性・透明性」の趣旨に留意しつつも、プラットフォームが一定の自由度を持った形で事業を展開することが必要と考える

左旋でのサービス状況

- 2018年12月より、基幹放送事業者であるスカパー・エンターテイメントが、110CSの左旋帯域にて下記8chの4K放送を開始
- マスメディア集中排除原則により、4K8K放送に関して保有可能なトラポンの上限数は4トラポンと定められており、既にスカパー・エンターテイメントは同上限に達している

		ND25 (12.231GHz)		ND1 (12.271GHz)		ND3 (12.311GHz)		ND5 (12.351GHz)		ND7 (12.391GHz)	
事業者	番組	未使用		未使用		未使用		未使用		未使用	
		(120)		(120)		(120)		(120)		(120)	
事業者	番組	スカパー・エンターテイメント		スカパー・エンターテイメント		未使用		未使用		未使用	
		J SPORTS 1 (4K) スポーツ	J SPORTS 2 (4K) スポーツ	J SPORTS 3 (4K) スポーツ	J SPORTS 4 (4K) スポーツ	(120)		(120)		(120)	
		(60)		(60)		(60)		(60)		(60)	
事業者	番組	スカパー・エンターテイメント		スカパー・エンターテイメント		スカパー・エンターテイメント		スカパー・エンターテイメント		スカパー・エンターテイメント	
		スターチャンネル 4K 映画	スカチャン1 4K 総合編成	スカチャン2 4K 総合編成		日本映画+時代劇 4K 総合編成		(60)		(60)	
		(60)		(60)		(60)		(60)		(60)	

スカパー・エンターテイメントは4K放送にて合計4トラポン使用中

注: 東経110度CS放送(左旋)のテレビ番組は4K。

放送番組数(令和2年7月1日現在)	
4K 8番組	合計8番組

110度CS高度化

■ 有料放送事業において引き続き重要な110度CS衛星放送について、長期的な視点での高度化が必要と考える

4K放送の推進と左旋対応受信機の普及促進

- テレビ放送の付加価値となる4K放送の推進
- 左旋受信環境の整備、及びセキュリティに関して優位性のあるACASを搭載した、4Kテレビ、録画機等の受信機の普及が望まれる

左旋帯域の柔軟な活用案

① 2KにおけるHEVC方式の活用

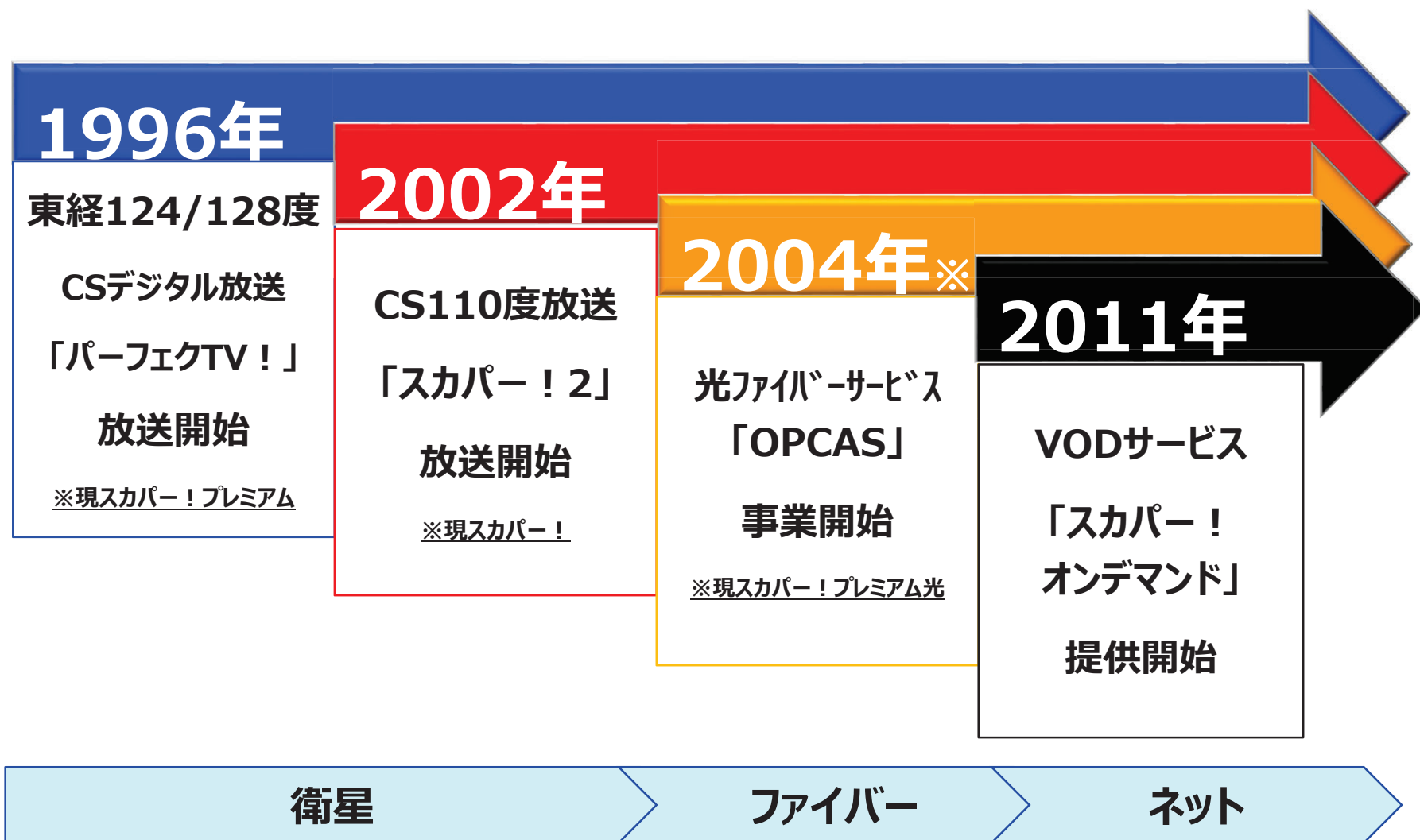
右旋帯域は現状空き帯域がなく、新たなチャンネルを誘致することはできない。2KでもHEVC方式を活用できるようになれば、多様なコンテンツを投入できることから、左旋の受信を促進でき、結果的に4K受信も普及させることにつながる

② 配信での活用

放送のみならず、特定用途向け映像の多地点への配信に、放送受信機や衛星中継器を活用することも考えられる

參考資料

メディア事業サービス沿革



※2008年よりフレッツ・テレビサービス開始
(FTTHによる地上波/BS/110CSの再送信)

メディア事業サービス概要



スカパー!

スカパー!


プレミアムサービス

スカパー!

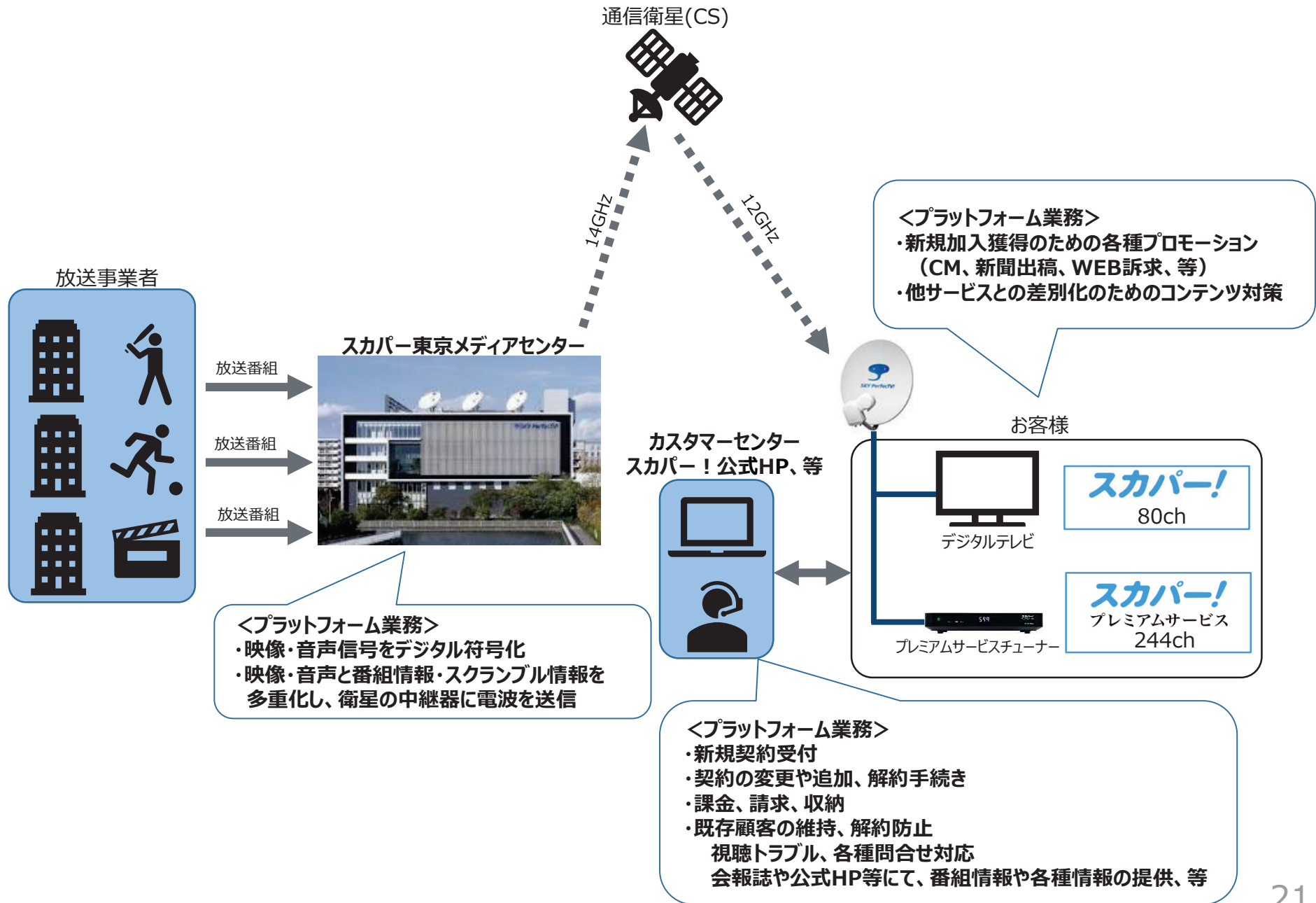
プレミアムサービス光

スカパー!

ondemand

	(東経110度 BS/CS放送)	(東経124/128度 CS放送)	(光回線テレビ)	(インターネットOTT配信)
こんな人に オススメ	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 気軽に多チャンネルを楽しみたい ◎ 配線などが苦手 ◎ 自宅で簡単に録画したい 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ハイビジョンを観たい ◎ こだわりのチャンネルが好き ◎ いっぱいチャンネルを観たい 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ フレッツ光がある ◎ アンテナ設置が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 自宅や旅先でもスマホやPC・タブレットで観たい ◎ 生放送を見逃した ◎ アンテナ設置が困難
全CH数	標準画質:13Ch HD:58Ch 4K:9Ch(BS/110度CS左旋) 合計:80Ch	HD:143Ch 4K:1Ch デジタルラジオ:100Ch 合計:244Ch	HD:141Ch 4K:1Ch デジタルラジオ:100Ch 合計:242Ch	放送契約者無料 51Ch (うちリニア36Ch) 月額商品 44 成人向け商品他
視聴環境	 <p>「B-CASカード」が入っているデジタルテレビやレコーダー</p> <p>4k 8K対応BS/110度CSアンテナ</p>	 <p>プレミアムサービス対応チューナー</p> <p>マルチアンテナ</p>	 <p>デジタルテレビ</p> <p>プレミアムサービス対応チューナー</p> <p>フレッツ・テレビ</p>	 <p>インターネット接続環境 スマホ・PC・タブレット</p>
アンテナ	4K8K対応BS/110度CSアンテナ 光回線経由でも視聴可能	スカパー! マルチアンテナ	アンテナ不要	アンテナ不要
受信機	BS・110度CS対応 デジタルテレビ・レコーダ	専用STB/ 内蔵テレビ・レコーダ	専用STB/ 内蔵テレビ・レコーダ	スマホ/PC/タブレット
CASカード	B-CASカード 4K:ACAS(内蔵チップ)	スカパー! 専用ICカード	スカパー! 専用ICカード	不要(アカウント登録)
2020年8月末 加入件数(IC数)	2,191,864件	896,938件	78,933件	2,040,257件 (登録会員数)

プラットフォームの業務概要



総務省研究会報告書におけるプラットフォームの規律に関する記述

- 2003年に「衛星放送におけるプラットフォーム事業者の業務に係るガイドラインに関する指針」が「CSデジタル放送に係る事業の在り方に関する検討会」にて取りまとめられ、同指針に基づき2003年にガイドラインを策定
- 2006年 総務省の研究会報告書に、プラットフォームの規律に関する記述がなされ、2007年に、ガイドラインの大幅な改定を実施

<2006年 各研究会報告書の記述>

	衛星放送の将来像に関する研究会	デジタル化の進展と放送政策に関する調査研究会
プラットフォームの規律について	<p>規律が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> - 優越的地位にあるPF事業者について、公正性・中立性・透明性を確保するための規律が必要 - 「法令による規律」か「公的指針」のどちらが適切か、専門家を交えた検討が必要 	<p>規律が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「①PF業務の制度化」または「②PF事業を兼営する大規模放送事業者の制度化」が必要 (①の規律案として、「登録制」「会計の整理」「差別的取扱いの禁止(提供義務含む)」「業務手数料の適正確保」「苦情対応義務」が考えられる) - 当面は、自主ガイドラインによる対応を、更に充実させるための検討を進める

上記を受け、2006～2007年に有識者・放送事業者等も参加する「プラットフォームの在り方に関する協議会」が設けられ、「衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン」の見直しについて議論・検討がなされ、2007年に同ガイドラインの大幅な改定を実施